

【報告】『第3回 のみ SDGs 円卓会議』



2月2日(水)に「第3回のみ SDGs 円卓会議」を開催しました。

今回が年度最後となる本会議では、これまで進めてきた「のみ指標分科会」「パートナーシップ制度分科会」「情報発信分科会」について、議論のまとめを報告。

委員の皆さんからは、率直な意見とともに今後の推進につながるアイデアを共有いただき、年度の仕上げとなる意見交換となりました。

あいさつ

開会に先立ち、JAIST 産学官連携推進センター長の山本座長からは「本日の会議では、報告内容を受け俯瞰的に各分科会の内容を精査した上で、皆さんの意見を追加していく。今年度最後の円卓会議になるが活発なご意見をいただきたい。」とご挨拶をいただきました。



意見交換

続いて山本座長の進行で、9月から12月にかけて4回にわたり開催してきた「のみSDGs 専門分科会」についての報告と意見交換を行いました。

下記に主な意見について紹介します。

①のみ指標分科会について

- ・活動目標につながる一例をHPに掲載する際は、市民にとって「上から降ってきたもの」とならないよう、また、意識が高くない人にも活動を始めてもらえるよう、表現方法を工夫したい。
- ・3つのお人柄が縦割りになるのではなく、それぞれで連携できるような活動アイデアを考えていくことも必要ではないか。
- ・のみ指標の切り口である「お人柄」は、社会関係資本（ソーシャルキャピタル）と言い換えることができそう。社会関係資本が豊かな地域、つまり人と人との信頼関係や

協力関係が豊かな地域は経済成長や出生率も高く、健康寿命も高いという相関がある。
この指標を伸ばしていくためのパートナーシップ制度にしていきたい。

②パートナーシップ制度分科会について



- ・現状の案では「パートナー」と「サポーター」の違いはHPへの掲載があるか否かではあるが、「サポーター」もHPに掲載できるようにしても良いのではないかと。
- ・パートナーシップ制度での交流・学びの場が課題を解決できるような場になることが理想であり、集まる人たちをどう巻き込んでいくかが楽しくなる秘訣だと思う。交流・学びの場で様々な人を巻き込みながら未来を描いていけると良い。
- ・人のつながりの中での感謝が蓄積され「お人柄」が豊かになることにつながる。「お人柄」を能美のSDGsブランドとしていくために、パートナーシップ制度を活用していければと思う。

③情報発信分科会

- ・市民に向けたHPという役割のほかに、能美市としての魅力を他地域に発信していくツールとしても活用できれば。「お人柄」をたくさん紹介していくことで、地域とつながりたいという人も増えるだろう。
- ・HPに辿り着くまでの手立てが必要である。例えば、子育て世帯が通う施設やHPに掲載やリンクを貼る等、誰一人取り残さないために早い段階で周知することが必要であ

る。

・相談窓口に行かないような人を対象にした出前相談窓口も検討できると良い。こちらから出向き、小さいことから発信し交流することで、意識の低い人も巻き込んでいきたい。



今回は、「のみ指標分科会」委員長の山本委員長（座長兼任）に加え、「パートナーシップ制度分科会」から金沢星稜大学 特任教授の新委員長、「情報発信分科会」から金沢学院大学 地域連携推進センター長の飯田委員長にもオンラインで参加いただきました。



各委員長には、担当分科会の報告について補助的に説明をいただくだけでなく、他の分科会への感想や意見もいただきました。

オンラインではありましたが、専門分科会と円卓会議の橋渡し役として大変積極的に議論にご参加いただき、互いの理解を深める意見交換となったのではないのでしょうか。

のみ SDGs 合言葉について

最後に、今後 SDGs を能美市一丸となって進めていく上での旗印として「未来につなぐお人柄」を合言葉として提案し、委員の皆様から承認をいただきました。



委員の皆様からは、「『お人柄』はひらがな表記の方がやわらかい印象となり、能美市に合うのではないか」「お人柄は能美市のブランドとなるもの。『おひとがら』や『OHTIOGARA』など能美市の独自性が出る表記にすると良いのではないか」とご意見をいただきました。

今回は、専門分科会を経てまとめてきた、それぞれの具体的な案や設計についてご意見をいただきました。いただいたご指摘やアイデアを基に、指標やパートナーシップ制度、そして相談窓口・ホームページが形だけのものではなく、多くの市民のSDGsへの参加を呼び込むものとなるよう、一層の工夫を凝らしていきたいと思えます。

第1回目の円卓会議では「のみ指標」「パートナーシップ制度」「情報発信」について何も決まっていないところから議論が始まり、円卓会議委員のみなさまに都度ご報告・相談させていただきながら、現在の「お人柄」を軸にした方向性を形作ってきました。

お忙しい中温かいご協力をいただきました委員の皆様にあらためて御礼申し上げます。

能美市のSDGsはこれからが本番です。今後も委員の皆様と連携しながら進めていきたいと思えます。